

○議長（茅沼隆文）

日程第11 報告第7号 平成28年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についてを議題といたします。

報告書の説明を公社理事長に求めます。

理事長。

○副町長（小澤 均）

それでは、平成28年度の土地開発公社の事業計画・予算及び資金計画について、説明をさせていただきます。

報告第7号 平成28年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画について。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成28年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画を別添のとおり提出する。

平成28年3月4日提出、開成町長、府川裕一。

1ページをご覧くださいと思います。

平成28年度の開成町土地開発公社事業計画は、次に定めるところによる。

平成28年2月15日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

2ページと3ページをご覧ください。

平成28年度の事業計画としましては、現時点で具体的な土地の取得、売却の予定はありませんが、窓口予算として、その他事業1,000円をそれぞれ計上させていただきます。

4ページをご覧ください。

平成28年度開成町土地開発公社予算及び資金計画。

総則。

第1条。平成28年度開成町土地開発公社予算及び資金計画は、次に定めるところによる。

収入支出予算。

第2条。収入支出予算の総額は、収入支出それぞれ2,194万2,000円と定める。2、収入支出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 収入支出予算」による。

借入金。

第3条。借入金の目的、限度額、借入先、借入方法、借入利率及び償還方法については、「第2表 借入金」による。

資金計画。

第4条。資金計画は、「第3表 資金計画」による。

平成28年2月15日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

次に、5ページをご覧ください。

第1表、収入支出予算。収入は、事業収入、借入金ともに1,000円です。これは、平成29年度に公社が売却をしました松ノ木河原の土地に係る町からの支払

いが平成27年度をもって完了したことによりまして、平成28年度は窓口として設定をさせていただくものです。繰越金、平成27年度からの繰越金として2,193万4,000円、事業外収入6,000円、これは利息収入でございます。収入合計は、2,194万2,000円でございます。

支出としましては、事業費が土地取得費1,000円、一般管理費として3,000円です。借入金償還金、事業外支出ともに1,000円です。これは、平成17年度に公社が購入した松ノ木河原の土地に係る金融機関への償還が平成27年度をもって完了したことによりまして、平成28年度は窓口として設定をさせていただいています。そのほか予備費2,193万6,000円を加えまして、支出合計は2,194万2,000円でございます。

6ページをご覧ください。

第2表、借入金。目的、公有地等取得管理資金、限度額5億円、借入先、借入方法、借入利率、償還方法は、記載のとおりとなっております。

次に、7ページをご覧ください。

第3表、資金計画でございます。左側の受入資金、右側の支払資金の合計は、ともに2,194万2,000円となっております。内容の説明は、5ページの収入支出予算でご説明をしたものと重複をしますもので、省略をさせていただきます。

8ページと9ページをご覧ください。

平成28年度収入支出予算説明書でございます。収入支出ともに前年度予算から4,580万9,000円の減額としております。こちらの内容も、5ページの収入支出予算で説明したものと重複をしますもので、割愛をさせていただきます。

10ページをご覧ください。

平成27年度収入支出決算見込計算書でございます。表の上の記載をご覧ください。平成28年3月末の決算見込みは、収入見込額6,775万1,254円、支出見込額4,581万7,226円、差し引きは2,193万4,028円となる見込みでございます。

表の中の当該年度決算額の欄をご覧ください。収入内訳としましては、町に売却をしました松ノ木河原の土地に係る町からの土地売却収入、平成26年度からの繰越金、預金利息収入となっております。

次に、11ページをご覧ください。

支出内訳としましては、公社が購入しました松ノ木河原の土地に係る借入金償還金、事業外支出、借入金償還金に係る支払利息となっております。

12ページから17ページは、決算諸表となっております。12ページから14ページが平成27年度末、15ページから17ページが平成28年度末となっております。

初めに、平成27年度の決算見込みです。13ページをご覧ください。

予定損益計算書となっております。一番下の数値、当期純利益をご覧ください。松ノ木河原の土地に係る公社の償還金、償還に係る利息、町からの売却収入、預金

利子収入を加味しまして、381万4,614円が平成27年度における純利益となる見込みでございます。

前のページ、12ページの予定貸借対照表をご覧ください。

資産の部は、公社の保有しています預金残高を計上しております。負債の部は、平成27年度をもって松ノ木河原の土地に係る償還が完了をしておりますので、計上はありません。資本の部は、基本財産、前年度からの繰越金、先ほど13ページでご説明した当期純利益をそれぞれ計上してございます。

次に、27年度における資金の流れを14ページのキャッシュ・フロー計算書でご説明をさせていただきます。

(1) 事業活動によるキャッシュ・フローでございます。松ノ木河原の土地に係る売却収入の償還元金を差し引いた収益、利息の受取額、償還に係る利息の支払額をそれぞれ計上しまして、事業活動によるキャッシュ・フローは381万4,614円となる見込みでございます。この結果、(4) 現金及び現金同等物増減額は381万4,614円となり、これに対しまして平成27年度当初、(5) 現金及び現金同等物期首残高を足しまして、平成27年度末、(6) の期末残高は491万9,234円となる見込みとなっております。

最後に、15ページから17ページが平成28年度の決算見込みになっております。計上内容については、平成27年度と同様となっておりますので割愛をさせていただきます。

説明は以上です。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑がないようですので、以上で。ありますか、山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

開成町土地開発公社については、償還が終わったということでの報告をいただいたところです。今後、公社の活用、いろいろな事業をやるのには公社利用という部分もあるとは思いますが、今後の計画はあるのかなのか、そこら辺、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

行政推進部長。

○行政推進部長（加藤順一）

ただいま本年度の事業計画、予算、資金計画について、ご説明させていただいたところでございます。公社に関しましては、常に弾力的に活用できますよう、先ほどご審議いただきました当初予算、一般会計の中にも、そちらのほうの債務保証の

部分を用意しているところでございますので、そういった事例がありました段階では弾力的に活用できる、そういう体制は用意してございますので、そういう事例があった段階で、また、ご説明の上、活用していきたいというふうに考えております。

○議長（茅沼隆文）

よろしいですか。

では、これで質疑を終了します。

以上で、報告第7号 平成28年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についての報告を終了いたします。